

## 維持・管理について

■6ヶ月に一度、次の外観の点検を実施してください。

- ロープにきず、ほつれ等の異常がありませんか
- ロープに汚れや変色がありませんか
- よこ棧に腐食や変形、固定のゆるみがありませんか
- 吊り下げ金具(カラビナ)に変形、腐食や作動不具合はありませんか

異常がある場合には、  
新しいものと  
交換してください。

避難ロープの吊り下げ場所が適切であるか、設置場所周囲は整理整頓されているかもあわせて確認してください。

## 各部の名称と仕様



ロープ(合成繊維)	直径9mm×2本	強さ1,400kg
吊り下げ金具(カラビナ)	直径10mm鋼製(ニッケルメッキ)	強さ1,500kg
吊り下げ金具(可変フック)(オプション)		
品番	516	522
全長	6.0m	7.7m
総質量	2.5kg	3.3kg
ケース	ポリケース	

## アフターサービスについて

避難はしごについてのご質問やご不明な点がございましたら、お求めの販売店または下記にお問い合わせください。

## オプション



販売店

**トーヨー消火器工業株式会社**

〒136-0074 東京都江東区東砂2-1-13

TEL.03(3646)7227(代)

http://www.toyosyokaki.jp

# トーヨー 避難ロープ装置

## ステップダンII型 取扱説明書

このたびは、トーヨーの避難ロープ装置をお求めいただきまことにありがとうございました。

この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと大切に保管し、わからないとき再読してください。

## 安全上のご注意 必ずお守りください

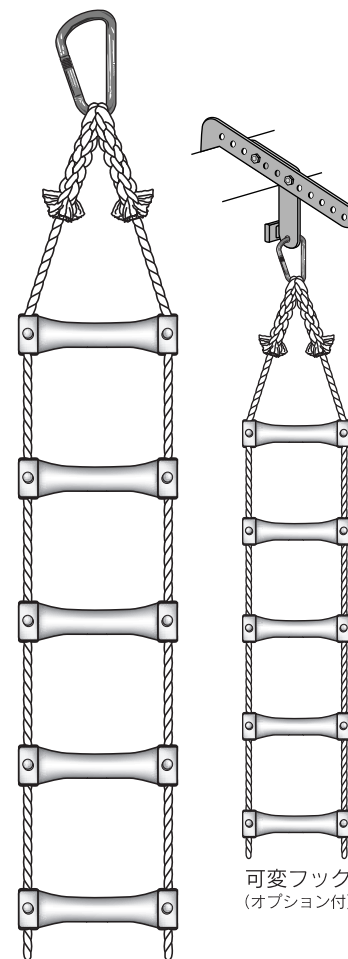
お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容と違う誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

<b>危険</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して生じることが想定される」内容です。
<b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
<b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、気をつけていただく「注意喚起」内容です。
	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



**トーヨー消火器工業株式会社**

## 安全上のご注意 必ずお守りください

### ⚠ 危険

- ❌ ロープにきず、ほつれ等の異常や老化があるものは使用しないでください。さびや老化等により弱くなった部分が切断し、転落する恐れがあります。
- ❗ ロープを吊り下げるための取り付け場所は、しっかりとした場所を選んでください。あらかじめ避難ロープを吊り下げる窓枠や手すり等の強度が十分か確認しておいてください。(1トン近い荷重でも、こわれたりしないしっかりとした場所)

### ⚠ 警告

- ❗ 避難ロープを展開操作する際は、真下に人がいないか必ず確かめてください。避難ロープを展開する際、真下に人がいるとロープ等にあたっけがをする恐れがあります。
- ❗ 小さな子供やお年寄りがいる場合は、若い男性が背負い紐等でしっかり背負って降下してください。小さな子供やお年寄りでは、この避難ロープでの降下は危険がともないます、必ず大人が補助してください。
- ❗ 定期的に点検を実施してください。異常がある場合には、新しいものと交換してください。

### ⚠ 注意

- ❌ この避難ロープは、火災等の緊急時以外は、使用しないでください。屋外のレジャーや山登り等には絶対に使用しないでください。
- ❗ 複数の人が降下する場合は、約2メートルおきに順次降りてください。避難ロープは600キログラム以上の荷重が加わっても、こわれたり、切れたりしませんが、安全に降りるためには、十分な間隔をおいて降下してください。
- ❌ 火災時に使用した避難ロープは、再使用しないでください。一度火災等で使用されたものは、強度劣化している恐れがあります。

## 避難ロープの設置に際して

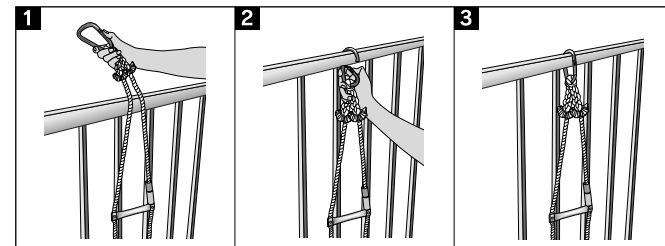
- ❗ ● 緊急時に備え、あらかじめロープの取付場所を設定しておいてください。手すり部分へ表示することをお勧めします。
- 避難に有効な開口部(窓など)がある場所に設置してください。開口部の大きさは、横45cm以上、縦100cm以上または横50cm以上縦80cm以上で床面から開口部までの高さは、1.2m以下であること。
- 避難ロープを展開するのに有効なスペースがある場所に設置してください。操作面積は、0.5㎡以上で、かつ、一辺の長さが60cm以上であること。
- 降下するのに必要な降下スペースがある場所に設置してください。降下空間は、避難ロープを中心とした、半径50cmの円柱形の範囲があること。
- 降りた後安全に避難できるスペースがある場所に設置してください。避難に支障のない広さが確保されており、かつ、幅1m以上の通路で広場や公道に通じていること。
- ❗ ● 避難の妨げにならないよう、本製品の上や避難ロープ設置場所の周囲には物を置かないようにしてください。
- ❗ ● 保管には室内の見やすい場所に設置してください。

## ご使用方法

### ■ 避難ロープの使用方法

1. 避難ロープをケース又は収納袋より取り出す。
2. 吊り下げ金具を手すりや専用の取付具にセットする。
3. 避難ロープを展開する。(降ろす)

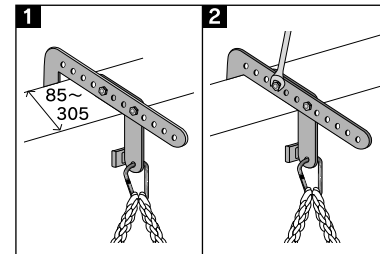
### 吊り下げ金具カラビナのセット方法



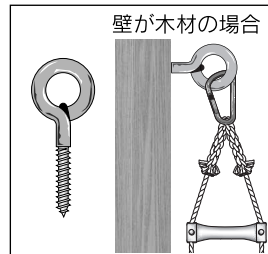
### ■ 可変フック(オプション)の使用方法

1. 吊り下げ金具可変フックは事前に取付場所ワクに巾を調整する。
2. 調整後ナットをしっかりと締める。

### オプション 吊り下げ金具可変フックのセット方法

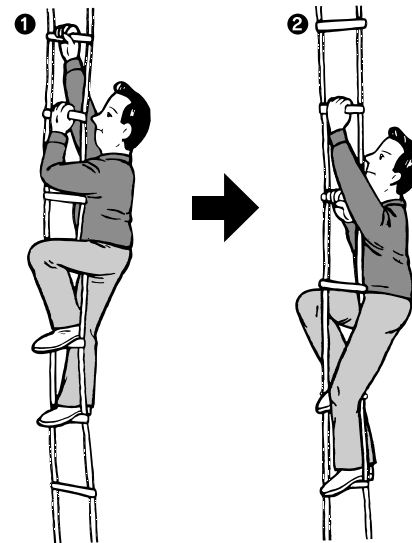


### オプション スクリューアイボルトのセット方法



### ■ 避難ロープの降り方

- ❗ ● 体を壁と直角にし、下図のように避難ロープを左右の手足ではさむようにして降りる。



### 火災時の避難に際して

- ❗ ● 緊急時の避難に際しては、あわてたり、先を争ったりせず、みんなで協力し合って避難してください。
- 風でロープがなびいても、ロープに体を密着させるようにして、最後まで1段ずつ降りてください。
- 複数の人が降下する場合は、約2メートルおきに順次降りてください。
- 小さな子供やお年寄りがいる場合は、若い男性が背負い紐等でしっかり背負って降下してください。
- 先に降りた人が、避難ロープの下端を固定する様に支えると、後から降りる人が容易に降りることができません。